日刊 動労千葉

79.5.24

No.128

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二ー八（動力車会館）

（鉄電）二二五八～九・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

19.22日『二線高架切換計画』団交行う！

基本協約締結にむけ更に前進

無責任な本質を露呈!!動労「本部交渉団」は姿も見せず

動労千葉は、一四〇〇組合員・家族の皆さんの生活向上、労働条件改善を責任をもって実現すべく、五月一八日の四月期昇給交渉（詳細は「交渉ニュース」№1（15）で既報）に続いて、一九、二二の両日「総武本線新検見川ー千葉間二線高架切換」の団体交渉を行いました。　動労「本部」暴力集団は、「再建」デマ情報（№11）で「千葉地本組合員の団体交渉は中央本部が責任をもって進めます」等言っていることとは裏腹に、一八日の昇給「交渉」で唯一彼らが当局に主張したことはなんと「三項八号（勤務成績不良）の適用が少ない」ということなのです。動労千葉組合員に差別昇給を行えという、およそ労働組合としては考えられぬ「要求」を当局に行っていたのです。そればかりか、「交渉」はわずか一時間で切り上げ、千葉市内某料亭で三時間も当局と「親睦」を深めるという、およそ戦闘的階級的労働運動とは無縁な「交渉」を行っていたのです。かくして、当局と密着した「本部交渉団」は、当面する千葉局乗務員の労働条件にかかわる最大の問題である「総武本線新検見川ー千葉間二線高架切換『交渉』」には姿すら見せぬという無責任ぶりを発揮したのです。　一九日、職場に侵入した「本部オルグ員」が、動労千葉組合員に「二線高架切換交渉はどうするんだ！」と一喝されるや、「そんなことは知らない」と押し黙ってしまったことでも明らかなとうり、「本部」暴力集団は「千葉組合員の利益を守る」とペテンをろうしながら、実際は千葉の実態を全く知らず、従って日常的な労働条件にかかわる諸問題を放置し、「動労千葉破壊」のためにのみ御都合主義的に「団体交渉」を利用しているにしかすぎぬことを自らが実証したといえます。

「二線高架切換」ー交渉経過

一九日、動労千葉交渉部が「二線高架切換計画」の概要提案を受けました。この概要提案に対して動労千葉交渉部は、切換に伴う線見訓練を枠外訓練で行う計画である以上、「三六条協定」を早期に締結することを当局に迫りました。

これに対して当局は「訓練開始時迄には三六条協定を整理する」と前進した回答をしてきました。

二二日、各支部長が出席する中で行われた交渉は、線見訓練及び線路切換に伴う労働条件変更の具体的提案が当局からなされました。

その提案概要は　（詳細は交渉ニュースに掲載）

1. 切換概況

千葉西一、二番は7/7（土）二二時から使用停止し、西一、二番線千葉構内0番から二番線、商業学校踏切のこう上を行う。この間列車は西三番、四番を使用して運転する。又、西三、四線については7/8（日）二二時四〇分から全面的に使用停止し、新検見川方と同時に切換作業を行い、7/9（月）四時四〇分に切換作業を終了し、以後試運転を行い所定ダイヤに移行する。

2. 切換に伴う区別仕業変更数（下段）

①電車関係

種別	臨電		変更		予備	記事
区名＼七月	七日(土)	八日(日)	七日(土)	八日(日)	八日(日)	
津田沼電			1	28		
千葉転	3		2	102(4)	8(定期8)	()は快速仕業
館山〃				2		変更は主に便乗
勝浦〃						
銚子〃						

②機関車関係

区名＼項目	七月 六(金)	七(土)	八(日)	九(月)	計	記事
新小岩区 変更		1	4	4	15	
新小岩区 休止	1	6	10	1	14	
蘇我区 変更		3	3	1	10	
蘇我区 休止		6	9	3	13	
佐倉区 変更		1	10	1	17	
佐倉区 休止	1	6	4	4	5	
成田区 変更	3	3	2		2	
成田区 休止	2	2	3			

3. 切換に伴う乗務員訓練

(1) 机上訓練、五月二五日から線見に間に合う期間

(2) 線路見学期間、五月二九日～七月三日

(3) 訓練方法、枠外訓練

(4) 訓練に伴う措置

イ 対象者・・・本線乗務員、指導、交番係、一〇〇、二〇〇予備、運転技術

ロ 机上訓練、超勤三時間

ハ 線見　勝浦、館山、銚子ー超勤七時間

成田、新小岩、佐倉ー超勤五時間

津田沼、蘇我ー超勤四時間

千葉運転区ー　超勤三時間

以上でした。

動労千葉は、この提案を受けて各支部での検討をへた後に新ためて協議することとして交渉を打ち切りました。

≪団体交渉予定≫

五月二五日一〇時より局四F団交室

夏季輸送交渉

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！